

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52100 畜産事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画
			款	5	農林水産業費			ポイント			
			項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5		
			目	1	畜産総務費			施策分野	(1)		
担当課	農政部 畜産課	内線	2239							市長公約	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産業の振興を図る。	概要	・飛騨畜産振興会の活動支援、畜産委員への報酬等
----	-------------	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
農業粗生産額(畜産を含む、年間)	251.7億円	266.2億円	230億円
「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じている市民の割合	75.1%	70.9%	↘

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		971	926	1,077	1,077	1,042	116
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	30	30	30	30	30	0
	その他(敷地占用料)	36	41	36	36	41	0
一般財源		905	855	1,011	1,011	971	116
新規・拡充	主な事業内容						
	飛騨畜産振興会負担金	741	731	747	747	747	16
○ 1	動物愛護フェスティバル開催に対する負担金			100	100	100	100

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	989
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
975	989	989	△ 88
30	30	30	0
36	36	36	0
909	923	923	△ 88
査定額	説明		
749			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会の開催をする とともに、家畜伝染病への対応として防疫資材等の支援の実施 ・飛騨牛改良協議会研修会において「飛騨牛を語る会」を実施 ・岐阜県畜産共進会の実施
評価等	・飛騨畜産振興会の活動を支援することで、畜産関係団体や畜産農家間において、連携及び情報の共有が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・家畜市場、枝肉価格、各農家の経営状況などを把握し、また、畜産情勢全般に注視しつつ事業継続の有無や、ニーズに沿った事業の検討を行う。 ・各団体の活動に対しての支援を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会の開催をする とともに、家畜伝染病への対応として防疫資材等の支援の実施 ・飛騨牛改良協議会の研修会の実施 ・岐阜県畜産共進会の実施
評価等	・飛騨畜産振興会の活動を支援することにより、飛騨地域の3市1村、畜産関係団体及び畜産農家間において、今まで以上の緊密な連携、情報の共有が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・家畜市場価格、各農家の経営状況などを把握確認し、また、畜産情勢全般を注視しながら事業継続の有無や、ニーズに沿った事業の検討を行う。 ・各団体の活動に対しての支援を行う。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨畜産振興会負担金等を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	52100 畜産事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	畜産課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	5	農林水産事業費		
枝番・内容	1 動物愛護フェスティバル開催に対する負担金		☐ その他重要事業			項	2	畜産業費	内線	2239
			☐			目	1	畜産総務費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	飛騨地域内の市民をはじめ県民に動物愛護の思想、啓発及び次世代を担う子供たちに対し、生命の尊重、友愛、平和の精神を図るため	概要	県下5地域の持ち回りで開催され、今回飛騨地域での開催である。 動物愛護フェスティバルin飛騨として飛騨市で開催
----	--	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	100
	繰越	
	補正等	
	最終	100
決算額		100
対前年度増減額(決算)		100

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績] 期日:9月22日(日) 10:00～15:00 場所:飛騨市文化交流センター交流広場 参加人数:約2,000人	
[評価等] 動物とふれあい、社会に役立つ動物たちの再認識が図られ、動物、人、自然全ての「命」の大切さを知ってもらうことができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52205 繁殖雌牛導入支援事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	5	農林水産業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり			
						項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します	
						目	2	畜産振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課			内線	2239											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨牛繁殖基盤を確保・拡大し、畜産の安定経営を図る。	概要	・繁殖牛導入資金を借りた場合の利子、保証料を補給する。
----	-----------------------------	----	-----------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
肉用牛繁殖雌牛飼育頭数	3,567頭	3,415頭	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		3,120	2,709	3,310	3,310	2,266	△ 443
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(財産収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)		1,551			1,498	△ 53
一般財源		3,120	1,158	3,310	3,310	768	△ 390
新規・拡充	主な事業内容						
	繁殖雌牛導入資金融資利子補給金(債務負担)・保証料補給金	3,120	2,709	3,310	3,310	2,266	△ 443

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	2,770
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
2,770	2,770	2,770	△ 540
		1,000	1,000
2,770	2,770	1,770	△ 1,540
査定額	説明		
2,760			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・導入資金利子補給 5件 287頭 ・導入資金保証料補給 14件 47頭
評価等	・繁殖雌牛の保留や導入を目的とした、金融機関による資金融資に対し、保証料や利子補給を行うことで、農家経営の安定と繁殖雌牛の増頭及び更新などに効果があった。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・導入資金利子補給 6件 260頭 ・導入資金保証料補給 8件 20頭
評価等	・繁殖雌牛の保留や導入を目的とした、金融機関による資金融資に対し、保証料や利子補給を行うことで、農家経営の安定と繁殖雌牛の頭数維持及び繁殖牛の更新などに効果があった。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨牛の改良・増頭や更新への効果を更に高めるため、繁殖雌牛導入支援制度を継続する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・畜産農家の和牛改良・増頭・更新等を支援するための導入資金に係る利子・保証料補給に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52210 家畜防疫衛生事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
						款	5	農林水産業費			ポイント						
						項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5		産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します	
						目	2	畜産振興費			施策分野	(1)		農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課			内線	2239												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	・伝染病調査及び発生予防 ・法定家畜伝染病予防接種助成 ・家畜伝染病予防消毒薬備蓄及び配布
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
農業粗生産額(畜産を含む、年間)	251.7億円	266.2億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		6,460	5,771	750	750	678	△ 5,093
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(家畜予防接種事業雑入)	4,150	4,267	750	750	678	△ 3,589
一般財源		2,310	1,504	0	0	0	△ 1,504
新規・拡充	主な事業内容						
	防疫用医薬品等	280	72	400	400	337	265
	法定家畜伝染病予防補助金	30	4	30	30	8	4
	高山駅周辺における防疫対策	3,200	2,794				△ 2,794
	豚熱(CSF)対策	2,750	2,660	320	320	333	△ 2,327
	家畜防疫対策の強化						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・伝染病浸潤状況の調査 ・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成1,500羽(接種頭数の減) ・高山駅周辺への防疫対策 4箇所
評価等	・防疫事業を実施し、家畜伝染病の発生予防に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・家畜防疫の広域体制を更に強化するため、継続して県、近隣市村及び関係団体と連携協力して進める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成3,000羽(計画に対し接種頭数の減) ・豚熱(CFS)対策として薬剤等配布
評価等	・防疫事業を実施し、家畜伝染病の発生予防に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・家畜防疫の広域体制を更に強化するため、県、近隣市村及び関係団体と協力して進める。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	2,160
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
4,010	2,140	2,160	1,410
	2,140	2,160	1,410
4,010	0	0	0
査定額	説明		
430			
30			
300			
1,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・家畜伝染病等の防疫対策強化のための啓発及び強化に必要な農家への支援経費を計上 ・法定家畜伝染病(鶏)予防補助金を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52215 家畜人工授精事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します	
						目	2	畜産振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課		内線	2239												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優良子牛の生産、増頭により家畜の改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	・家畜改良、増頭の推進 ・和牛、乳牛の家畜人工授精 ・和牛、乳牛の受精卵移植・採卵
----	---------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,567頭	3,415頭	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		28,640	27,523	27,940	27,895	27,521	△ 2
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 (人工授精等手数料、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	7,515	6,846	7,112	7,112	6,700	△ 146
一般財源		21,125	20,677	20,828	20,783	20,821	144
新規・拡充	主な事業内容						
	家畜人工授精事業	28,640	27,523	27,940	27,895	27,521	△ 2

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・人工授精 3,318件 ・受精卵移植 162件 ・受精卵採取 25件	
評価等	・農家に対しては、県の家畜改良方針に基づいた種雄牛の交配を積極的に推奨し「飛騨牛」のブランド力向上に努めた。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・県家畜改良方針に基づいた種雄牛を積極的に活用し、ブランド力の向上を推進する。 ・人工授精をはじめ、受精卵移植を活用し、飛騨牛の改良、増頭を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・人工授精 3,011件 ・受精卵移植 207件 ・受精卵採取 31件	
評価等	・市内全域の人工授精業務を委託対応した。 ・農家に対しては、県の家畜改良方針に基づいた種雄牛の交配を積極的に推奨し「飛騨牛」のブランド力向上に努めた。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・県家畜改良方針に基づいた種雄牛を積極的に活用し、ブランド力の向上を推進する。 ・受精卵移植の推進により、飛騨牛の改良、増頭を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	24,780
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
24,770	24,780	24,780	△ 3,160
7,012	7,012	15,012	7,900
17,758	17,768	9,768	△ 11,060
査定額	説明		
24,780			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・家畜改良及び維持、増頭のための人工授精業務、採卵、受精卵移植等の経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52217 家畜診療所運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します	
						目	2	畜産振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課		内線	2239												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜診療所を設置運営し、家畜診療業務をすすめる。	概要	・家畜診療所の運営
----	---------------------------	----	-----------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
畜産粗生産額(年間)	251.7億円	266.2億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		16,540	14,181	16,450	16,924	16,817	2,636
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(家畜診療等収入、家畜予防接種事業雑入 等)	16,540	14,181	16,450	16,924	16,817	2,636
一般財源			0	0	0	0	0
新規・拡充	主な事業内容						
	家畜診療所運営	16,540	14,181	16,450	16,924	16,817	2,636

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・家畜診療所開設(R2.4) R5.4～R5.9まで 職員 所長1名・獣医4名(うち1名所長兼務)・事務1名 R5.10～R6.3まで 職員 所長1名・獣医3名(うち1名所長兼務)・事務1名 事務所 市役所6階畜産課内 薬品庫 市役所地下駐車場内 業務 (1)診療 家畜の診療 (2)検診 子牛の産後特徴検査、感染病予防、妊娠鑑定 (3)防疫衛生 伝染性病疫予防、飼養衛生管理指	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定
評価等	・9月までは獣医師4名体制、10月から翌年3月までは獣医師3名体制で畜産農家への診療、検診、防疫衛生業務を実施し、畜産農家の経営安定に努めた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・家畜の診療及び検診を実施することで、疾病を予防、治療し畜産経営の安定と農家所得の向上につなげる。	

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・家畜診療所開設(R2.4) 職員 所長1名・獣医4名(うち1名所長兼務)・事務1名 R6.4～R7.3月まで 事務所 市役所6階畜産課内 薬品庫 市役所地下駐車場内 業務 (1)診療 家畜の診療 (2)検診 子牛の産後特徴検査、感染病予防、妊娠鑑定 (3)防疫衛生 伝染性病疫予防、飼養衛生管理指導	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定
評価等	・獣医師4名体制で、畜産農家への診療、検診、防疫衛生業務等を実施し、畜産農家の経営安定に努めた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・家畜の診療及び検診を実施することで、疾病を予防、治療し畜産経営の安定と農家所得の向上につなげる。	

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	16,770
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
16,773	16,770	16,770	320
16,773	16,770	16,770	320
0	0	0	0
査定額	説明		
16,770			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・家畜の診療、検診の充実を図るために必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52220 繁殖牛舎整備費助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
					款	5	農林水産業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり			
					項	2	畜産業費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション			
					目	2	畜産振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課		内線	2239	市長公約 強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3,600頭(R7)を目指すため、飛騨牛の地元素畜率の向上と飛騨牛ブランドの向上を図る。	概要	・牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人にに対し助成する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,567頭	3,415頭	-
肉用牛繁殖農家数(一貫経営を含む)	117戸	115戸	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		53,000	49,948	11,200	11,200	9,319	△ 40,629
特定財源	国費 ()						
	県費 (繁殖牛舎等建設支援事業1/2、1/3、1/4)	36,200	34,146	7,700	7,700	6,935	△ 27,211
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	10,000	15,000				△ 15,000
一般財源		6,800	802	3,500	3,500	2,384	1,582
新規・拡充	主な事業内容						
	繁殖牛舎等の整備に対する助成	15,000	25,896	9,400	9,400	8,660	△ 17,236
	自給飼料生産拡大機械整備等に対する助成	38,000	24,052	1,800	1,800	659	△ 23,393
	小規模農家等の牛舎等改修に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・堆肥舎等建設 2件 ・省力化等施設整備 2件 ・自給飼料拡大支援 14件
評価等	・初期投資の助成により、畜産農家の経営安定につながった。 ・省力化施設整備により、畜産農家の労働力の負担軽減につながった。 ・自給飼料機械導入の支援により飼料自給率の向上及び経営安定につながった。
次年度以降の考え方 (担当課)	・飼養頭数を増頭するための、より効果的な助成事業を検討する。 ・畜産農家の労働力不足や労力の負担軽減を図るため継続して助成制度を実施する。 ・家畜飼料価格が高止まりしている状況を踏まえ、情勢に注視しながら対応の検討が必要である。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・省力化等施設整備 5件 ・自給飼料拡大支援 1件
評価等	・初期投資の助成により、畜産農家の経営安定及び頭数維持につながった。 ・省力化施設整備により、畜産農家の労働力の負担軽減につながった。
次年度以降の考え方 (担当課)	・飼養頭数の増頭または維持のため、より効果的な助成事業を検討する。 ・畜産農家の労力の負担軽減を図るため継続して助成制度を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	21,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
21,000	21,000	21,000	9,800
8,500	8,500	8,500	800
		6,000	6,000
12,500	12,500	6,500	3,000
査定額	説明		
8,500			
2,500			
10,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・市内畜産農家が牛舎等を建設整備する際の支援に必要な経費を計上 ・市内農家が自給飼料生産拡大のため機械整備等する際の支援に必要な経費を計上 ・市内畜産農家が既存の牛舎等を改修をする際の支援に必要な経費を計上 ・市内畜産農家が防疫対策設備を整備する際の支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52225 家畜改良推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します	
						目	2	畜産振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課			内線	2239											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜の改良度や方向性の確認のため各種品評会を開催することにより、畜産物のブランド化を進め、農家の意欲向上による増産を図る。 ・飼料価格等の高騰の煽りを受け畜産経営を圧迫していることから購入粗飼料高騰差額分を助成し経営安定を図る	概要	・各種品評会の開催 ・粗飼料購入価格の高騰分に対し、2分の1を助成
----	---	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
肉用牛繁殖雌牛頭数	3,567頭	3,415頭	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		158,210	87,258	2,330	60,367	59,060	△ 28,198
特定財源	国費 (粗飼料価格高騰対策事業費 10/10)	156,000	65,737		58,000	56,843	△ 8,894
	県費 ()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		2,210	21,521	2,330	2,367	2,217	△ 19,304
新規・拡充	主な事業内容						
	全国和牛能力共進会に向けた支援	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	0
	家畜改良推進事業	960	839	960	997	894	55
	粗飼料価格高騰対策事業	156,000	85,169		58,000	56,843	△ 28,326
	牛運搬支援事業						
○ 1	防疫巡回指導事業			120	120	73	73

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・各種共進会参加及び出品(出品者に対する賞賜金) ・全国和牛能力共進会への支援(飛騨畜産振興会への負担金) ・粗飼料価格高騰対策事業助成 106件
評価等	・各種共進会への参加により畜産農家の飼育意欲等が向上した。 ・粗飼料高騰対策支援を実施したことにより、畜産農家の経営安定が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・県、隣接市村、JA等の関係機関との連携を密にし、各種共進会を実施し、飛騨地域の更なる組織強化及びブランド化を図る。 ・粗飼料価格の高止まり状況や農家の経営状況に注視しながら、支援の検討を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・全国和牛能力共進会への支援(飛騨畜産振興会への負担金) ・市内全畜産農家への巡回指導を実施 ・粗飼料価格高騰対策事業助成 140件
評価等	・市共進会をはじめ、各種共進会への参加により畜産農家の飼育意欲等が向上した。 ・畜産農家の防疫に対する対策の確認、指導及び現在抱える課題等を捉えることができた。 ・粗飼料高騰対策支援を実施したことにより、畜産農家の経営安定が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・県、隣接市村、JA等の関係機関との連携を密にし、各種品評会を実施し、飛騨地域の更なる組織強化及びブランド化を図る。 ・家畜伝染病発生や畜産農家の防疫対策等について、注視しながら検討し、必要であれば実施する。 ・粗飼料の価格高騰状況や農家の経営に注視しながら、助成が必要である。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	45,260
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
70,760	45,260	45,260	42,930
		22,000	22,000
70,760	45,260	23,260	20,930
査定額	説明		
1,250			
1,010			
43,000			
0			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・県、市町村、JA等関係機関との連携のよる更なるブランド化の推進及び今後の全国和牛能力共進会に向けての必要な経費を計上 ・畜産農家に対し、家畜運搬費用高騰分に対する支援に必要な経費を計上 ・全畜産農家に対し、物価高騰等による負担軽減を図るための支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・牛運搬支援事業については見送り
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	52225家畜改良推進事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	畜産課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1防疫巡回指導事業		☐ その他重要事業			項	2	畜産業費	内線	2239
			☐			目	2	畜産振興費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	畜産農家の牛舎等の巡回指導を実施し、防疫衛生の向上を図る。	概要	・市畜産アドバイザー(畜産専門指導員)と共に巡回を行い、指導や課題等の把握を行う。
----	-------------------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	120
主な経費	・報償費	
対前年度増減額(当初予算)		120

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	120
	繰越	
	補正等	
	最終	120
決算額		73
対前年度増減額(決算)		73

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・家畜防疫衛生に伴う畜舎等の巡回指導を行う ・巡回時には専門指導員(市畜産振興アドバイザー想定)を同行 ・100件程度巡回想定(10頭以上の多頭飼育農家を想定)	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・巡回指導日数:14日間 市内畜産農家全戸を巡回 ・市畜産振興アドバイザーと共に巡回		
[評価等] ・畜産農家の防疫に対する対策の確認及び指導ができた。 ・畜産農家が現在抱える課題等を捉えることができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	畜産農家の課題等の解決に向け適格な振興事業の実施に取り組む必要がある。	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52230 牧場運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント						
						項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します
						目	2	畜産振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業				
担当課	農政部 畜産課			内線	2239												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧を推進し、他産業との複合経営の促進、飛驒牛の低コスト生産及び増産を図る。	概要	・放牧場の整備・充実を図るとともに、適正な牧場利用調整・推進を図る。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
農業粗生産額(畜産を含む、年間)	251.7億円	266.2億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6				(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
		22,963	21,789	23,543	23,077	21,749	△ 40	
特定財源	国費 ()							
	県費 ()							
	その他(放牧料、飛驒高山ふるさと基金繰入金)	6,000	6,572	6,000	6,000	6,613	41	
一般財源		16,963	15,217	17,543	17,077	15,136	△ 81	
新規・拡充	主な事業内容							
	市営牧場の管理委託(岩井、久手、小鳥山、一色、飛驒御岳)	15,100	15,000	15,100	15,214	15,214	214	
	施設修繕	600		600	600	561	561	
	施設整備工事	1,400	1,243	900	900	880	△ 363	
	有害植物の駆除			1,000	930	930	930	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 43,811頭 ・整備事業(久手牧場内道路修繕工事) 1,243千円	
評価等	・夏山冬里方式により、畜産農家の負担が軽減され、更に飛驒牛の安定生産・飛驒牛ブランド力の向上が図られた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・牧場の利用状況及び管理方法の検証を行うとともに、放牧時における家畜伝染病防疫体制の強化を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 44,085頭 ・整備事業(岩井牧場内道路修繕工事) 880千円	
評価等	・夏山冬里方式により、家畜飼料経費の負担が軽減され、更に飛驒牛の安定生産・飛驒牛ブランド力の向上が図られた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・牧場の利用状況及び管理方法の検証を行うとともに、放牧時における家畜伝染病防疫体制の強化を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	22,103
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
22,103	22,103	22,103	△ 1,440
6,000	6,000	14,000	8,000
16,103	16,103	8,103	△ 9,440
査定額	説明		
15,300			
500			
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・畜産の夏山冬里方式による農家の生産コスト低減と省力化に資するための牧場運営に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52235 優良飛騨牛固定推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	2	畜産業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します	
						目	2	畜産振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課			内線	2239											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・遺伝的に生産性が高い繁殖牛や優良な乳用牛の保留または導入によるブランド強化	概要	・優良飛騨牛、優良乳用牛増頭に対する助成 ・家畜共済対象外の早期の流死産等の事故に対する互助のための基金造成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
生乳生産量(年間)	8,409t	8,772t	-
肉用牛繁殖雌牛頭数	3,567頭	3,415頭	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		30,040	20,299	27,260	27,260	22,934	2,635
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(優良雌牛保留対策事業雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	14,040	9,174	13,120	13,120	12,578	3,404
一般財源		16,000	11,125	14,140	14,140	10,356	△ 769
新規・拡充	主な事業内容						
	優良雌牛確保対策に対する助成	28,080	18,348	22,240	22,240	18,170	△ 178
○ 1	優良乳用牛保留・導入に対する助成	1,050	1,050	4,110	4,110	4,110	3,060

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・優良雌牛確保対策 66頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	・肉用牛繁殖雌牛や乳用牛の素牛購入にかかる経費は畜産農家にとって、大きな負担であるが、本事業を実施したことで、農家負担の軽減、飛騨牛の頭数維持に努めることができた。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営への影響を和らげると同時に経営安定が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・条件に該当する優良な雌子牛の掘り起こしや導入を行い、更なる保留、導入の推進を図る。 ・優良雌牛の増頭を推進することにより、肉用牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、経営安定を図る。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・優良雌牛確保対策 66頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	・肉用牛繁殖雌牛や乳用牛の素牛購入にかかる経費は畜産農家にとって、大きな負担であるが、本事業を実施したことで、農家負担の軽減、飛騨牛の頭数維持に努めることができた。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営への影響を和らげると同時に経営安定が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・条件に該当する優良な雌子牛の掘り起こしや導入を行い、更なる保留、導入の推進を図り、飛騨牛ブランドの強化を図る。 ・優良雌牛の増頭を推進することにより、肉用牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、経営安定を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	27,260
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
27,285	27,260	27,260	0
20,507	11,120	13,120	0
6,778	16,140	14,140	0
査定額	説明		
22,240			
4,110			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・優良な雌牛の保留・導入の推進に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	52235 優良飛驒牛固定推進事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	畜産課
			☒ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 優良乳用牛保留・導入に対する助成		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2239
			☐			目	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・遺伝的に生産性が高い優良な乳用牛の頭数の維持及び増頭を図る。	概要	・優良乳用牛の保留導入に対する助成
----	---------------------------------	----	-------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	4,110
主な経費	・補助金 (30頭 × 137千円 = 4,110千円)	
対前年度増減額(当初予算)		4,110

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	4,110
	繰越	
	補正等	
	最終	4,110
決算額		4,110
対前年度増減額(決算)		4,110

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[現行事業] ・市酪農振興会が行う優良乳用牛の保留・導入支援の取組に必要な経費を補助 ・1頭あたり35千円を補助 [事業拡充] ・1頭あたり137千円の補助に拡充 ※乳用牛導入の市場単価の1/4相当額に拡充	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・30頭 × 137千円 = 4,110千円 ・酪農振興会に対し助成した。 [評価等] ・優良乳用牛の保留、導入に対する助成を拡充したことにより、酪農家の負担軽減が図られた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・酪農家の件数や乳用牛の頭数が年々減少している中、維持していくためには今後継続していく必要がある。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	52245 飛騨食肉センター助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	2	畜産業費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション			
						目	2	畜産振興費			分野別 施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 畜産課		内線	2239	市長公約 強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産出を創出します											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成(と畜部門運営経費の一部助成)
----	-----------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
肉用肥育牛飼養頭数	5,405頭	5,688頭	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		38,715	25,154	25,905	25,905	25,358	204
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		38,715	25,154	25,905	25,905	25,358	204
新規・拡充	主な事業内容						
	BSE対策、肉豚出荷等に対する助成	38,710	25,149	25,900	25,900	25,353	204
	食肉基幹市場建設促進協議会負担金	5	5	5	5	5	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成(と畜部門運営経費の一部助成)	
評価等	・飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている(現在18の国や地域へ輸出) ・飛騨3市1村の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・各種助成事業を継続実施する中、肉豚出荷の助成については、状況を把握しながら検証及び検討を行っていく。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成(と畜部門運営経費の一部助成)	
評価等	・飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている(現在19の国や地域へ輸出) ・飛騨3市1村の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・各種助成事業を継続実施する中、肉豚出荷の助成については、状況を把握しながら検証及び検討を行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	25,905
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
25,905	25,905	25,905	0
25,905	25,905	25,905	0
要求額	説明		
25,900			
5			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨食肉センターの円滑な運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり